

出前講座報告書

実施日時	2026年2月8日 10:30～11:40	主催者名	津軽保健生活協同組合 五所川原支部
講師名	安田佳乃	会場名	せせらぎ温泉
テーマ	処方せん医薬品とOTC医薬品の違い		
参加人数	42人	報告者	安田佳乃

【講座内容】

○処方せん医薬品とは

・医師の診断が必須で、処方せんがないと受け取れない、効果が強い一方、副作用リスクも高い、医師・薬剤師による管理が必要、抗生物質、糖尿病薬、高血圧薬など、例外：薬局製剤、零売、マンジャロ(特例的に話題)

○OTC 医薬品とは

・「市販薬」「大衆薬」、カウンター越しに購入できる薬、要指導医薬品、第1～3類に分類、胃薬、湿布、風邪薬など、成分が同じでも処方薬と効能・効果が異なる例あり(ロキソニンなど)

○使い分け

・軽い症状 → OTC、長引く・重い症状 → 医療機関へ、数日で改善しない場合は受診、自己判断での併用や、過去の薬の再使用は危険

○OTC 類似薬品(保険外) OTC と成分が似ている処方薬を「OTC 類似薬品」と呼ぶ流れ

・目的:保険適用から外すこと、医療費削減、患者負担増

2025年12月24日決定⇒2027年3月から開始予定 77成分・約1100品目 薬剤費の1/4を追加負担

今後、対象拡大や負担割合引き上げの議論あり

○選定療養(薬局版)保険診療+自己負担を組み合わせる制度

・薬局では後発医薬品がある先発品を選ぶと差額の1/4を負担、対象外:医師が必要と判断、後発品が供給困難、バイオ医薬品、入院患者、2026年には差額1/2に引き上げる議論もあり⇒後発品への誘導⇒医療費抑制

【質問等】

.

<気づいたことや今後の教訓など>

